

フンエン便り

12月最終号

平成27年12月10日

ARCベトナム校発行

閉講式

12月6日に日本語能力試験を受験し、12月7日に閉講式を行い、EPA3陣が修了しました。閉講式での代表者によるスピーチを紹介します。

●看護師候補者代表あいさつ

みなさん
ご来賓のみなさま 先生方 EPA候補者のみなさん
私は看護師候補者のファン ティ フエンと申します。本日EPA候補者第3陣の代表として、あいさつさせていただきます、大変うれしく思っております。

まず、ベトナム政府のみなさま、日本政府のみなさまにお礼を申し上げます。みなさまのおかげで、この一年でたくさんの方のことを学び、経験することができました。ありがとうございます。

私が看護師になったのは、医学が好きだからです。子どものとき、よく病気になるので、何度も病院に入院していました。そのとき、看護師はとても親切でした。よく私のそばに来て、痛みを抑えようとしてくれました。それで、看護師になり



たいと思いました。

看護師になったとき、外来の看護師の技術を勉強したいと思いました。日本では看護師の専門の技術がとても進んでいるからです。ですから、EPAに参加しています。

一年間アークアカデミーでいろいろなことを勉強しました。日本語を勉強するのはとてもむずかしかったです。いちばん難しかったのは聴解です。新しい言葉も出てきて、会話を聞いて、すぐにその場を想像しなければならなかったからです。でも、先生たちのおかげで、聞き取れるようになりました。

そして、社会文化の授業もおもしろかったです。社会文化について教えていただいたおかげで、日本人の生活と働き方と性格を知ることができました。私は、日本人の約束を守るところや真面目に働くところ、そして、人に親切にするところがいいと思いました。



一か月間、日本の看護の専門技術についても勉強しました。バイタルサインや移動介助などです。そして、専門の先生は、患者さんとコミュニケーションするとき、困ったことがあった場合に、患者さんに好感を持たれるふるまい方も教えてくださいました。患者さんとのコミュニケーションの大切さがよくわかり、日本で働きたいという気持ちになりました。

日本へ行ったら、日本の看護の技術について勉強したいです。特に、病院の機械の使い方や、患者さんとのコミュニケーションの取り方を勉強したい

です。そして、日本人のように、何かをするとき、いつも相手の気持ちに配慮することを身に付けたいです。将来、一生懸命働いて、日本ですつと働けるように、看護師免許をとって、がんばろうと思っています。

最後にひとこと言いたいです。ベトナム政府のみなさま、日本政府のみなさま、私に日本で勉強する機会を与えてくださり、本当にありがとうございます。ベトナムと日本両国の期待にこたえられるように、さらに努力いたします。みなさまのご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

ご清聴、どうもありがとうございます。

看護師候補者代表 ファン ティ フエン

2015年12月7日

●介護福祉士候補者代表あいさつ

みなさん、こんにちは。私はEPA介護福祉士候補者のドウオン ビントと申します。本日は介護福祉士候補者代表としてあいさつさせていただきます。そして、ベトナム政府のみなさま、日本政府のみなさま、関係者のみなさま、LORDのみなさま、アークアカデミーのみなさまにお礼を申し上げます。

私は研修ではじめて日本人の先生から日本語を教えていただきました。はじめは言語が違うので、話しているときや、学習しているときに、ときどき伝えたいことを伝えられませんでした。日本のお正月について、先生に教えていただいたときに、私は





ベトナムのお正月について先生に教えてあげたかったです。たとえば、ベトナムのお正月には「バインチュン」というお菓子を食べます。豆と豚肉でできたちよつと塩辛いお菓子です。私たちは「バインチュン」を食べると、母親に感謝することの大切さを感じるができます。このようなことを伝えたいのに、まだまだ言葉を知らないの、上手に伝えることができませんでした。でも、先生がいろいろな方法を使って、明るく話したり、教えたりしてくださったので、わかりやすく学習できて、上手になりました。一年間、先生方がいつも温かく熱心にいると実感して下さって、とても感謝しております。ありがとうございます。

そして、8月に一か月間、日本の介護の専門を日本からいらつしやつた先生方に教えていただきました。たとえば、シーツを整えるときに、しわが残らないようにします。これは、ベトナムの看護大学でも習いました。でも、日本では、利用者さんに褥瘡ができないように絶対にしわを残してはいけないと実習で教わりました。シーツのしわのことが、

そんなに大切なことなのだとは思っていませんでした。ベトナムと日本のシーツの整え方は違うのだと勉強になりました。

私は、EPAではじめて集団で暮らしたので、楽しいことがたくさんありましたが、困ったり、心配したりすることも少なくなかったです。でも、ルームメートをはじ

め、友達がいともそばにいて、応援してくれたおかげで、意味のある生活ができました。それに、いい友達もたくさんできました。みんな一緒に勉強やサッカーとか、バドミントンというスポーツやラジオ体操とか、体元気という体操をしていました。寂しいときでも、いつも頑張つて一緒に生活していました。まるで大きな家族のように感じています。みなさんのおかげで、いろいろと体験できて、うれしかったです。ありがとうございます。

さて、候補者のみなさん、来年日本へ行つたら、次の目標は何ですか。私は日本へ行つたら、仕事をしながら、介護の専門を勉強したり、日本語の勉強を受けたいです。それから、いつかベトナムへ帰つて、介護のサービスマンをもついろいろな人に知ってもらえるように、頑張りたいと思います。これは、私の目標です。候補者のみなさんも目標を作つて、それに向かって進みましょう。これからも、みんな元気で楽しく頑張ります。

最後になりましたが、このような機会をいただくことができ、ベトナム政府のみなさま、日本政府のみなさまにお礼を申し上げます。ありがとうございます。

そして、関係者のみなさま、LORDのみなさま、アークアカデミーのみなさまにもお礼を申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

介護福祉士候補者代表 ドウオン
ビン トイ
2015年12月7日



祝 修了！！



完